

決議第1号

長崎本線が JR 九州の経営から分離されることに反対する決議

鹿島市議会では、平成4年9月、8年12月および16年12月議会において全議員の提案により長崎本線が JR 九州の経営から分離されることに反対する存続の意見書等を採択し、内閣総理大臣および佐賀県知事に対して意見書等の提出を行った。JR 長崎本線は、九州新幹線長崎ルート建設の条件として、並行在来線と位置づけられ肥前山口～諫早間が JR 九州の経営から切り離されようとしているが、我々にとって長崎本線は、先人が苦勞して建設し残してくれた大事な財産であり、永年子どもたちの通学の足として又、住民生活の足として親しまれてきた。歴史、文化、経済的背景が違う場所を通る新幹線建設のため犠牲となり、ゆくゆくは廃線に追い込まれる可能性のある肥前山口～諫早間の JR 九州からの経営分離には、到底納得できるものではない。

我々も、西九州の一員として共に発展する権利を有しており、改めて『長崎本線が JR 九州の経営から分離されることに反対する』ことを決議する。

平成18年6月23日

佐賀県鹿島市議会

決議書送付先

内閣総理大臣	小泉純一郎様
国土交通大臣	北側一雄様
佐賀県知事	古川康様
九州旅客鉄道(株)代表取締役社長	石原進様